



## 卒業生176人の輝かしい未来に栄光あれ



3月14日(火)、多くの保護者・御来賓の皆様、学校職員、生徒会役員の祝福を受けて第39回卒業式が挙行されました。

コロナ禍の中で3年間の中学校生活を過ごしてきた3年生にとって、辛く寂しい思い出が多かったかもしれませんが、卒業式当日の姿は、凛として輝いており、次のステージに向けて力強い一歩を踏み出して行きました。

ピロティアーには、1・2年生の皆さんからのメッセージが掲示され、卒業式に華を添えてくれました。皆さんの心温まる一言一言は、卒業生にも届いたことでしょう。本当にありがとう。

3年間の学び舎を巣立つ卒業生に、次のようなメッセージを送ったので紹介します。

「少にして学べば則ち壯にして為すこと有り」  
「壯にして学べば則ち老いて衰えず。」  
「老いて学べば則ち死して朽ちず。」

江戸時代後期に、佐藤一斎という儒学者がいます。一斎が記した書物の中に「言志四録」という本があります。この本は、鹿兒島の偉大な先人である西郷隆盛が離島で過ごした際に、愛読書として読まれていた本としても知られています。

上の句は、この本の中に記されている一説です。

■少年の頃にしっかり学んだ事は、大人になったら必ず役に立つ。

■大人になってからも学び続ければ老年になってもその力は衰えることはない。

■老年なっても学ぶことをやめなければ、亡くなった後も学んだ事は人々に受け継がれていく。という教えです。

人生百年時代と言われます。伊敷台中での学びを糧に上級学校でも更に学びを深め、社会人となっていく中でも、更に学び続け、強くたくましく、そして、優しく思いやりのある人として成長してほしいと願っています。

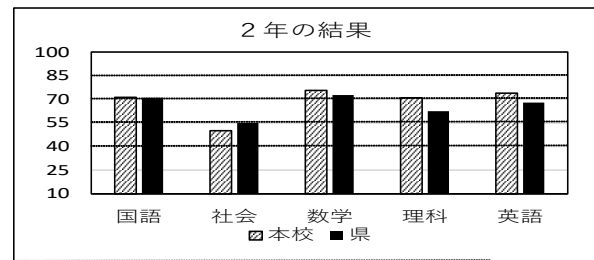
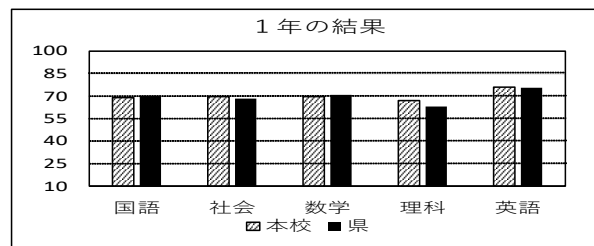
## 鹿兒島学習定着度調査の結果

1月17日(火)、18日(水)に実施された「鹿兒島学習定着度調査」の結果をお知らせします。

この調査は、「基礎・基本」と「思考・判断・表現」の問題から構成されており、県内の生徒の学力の定着状況について把握や分析を行い、学力向上に資する目的で行われています。

本校でも、教科ごとに課題を明確にし、今後の学習指導に生かしてまいります。

以下に、各教科ごとの平均通過率のグラフと今後の改善策を示します。なお、グラフの縦軸は通過率(全問中の正答率)です。



### 結果から

- ・1年生は国語・理科・英語で、2年生は国語・数学・理科・英語で県平均を上回っている。
- ・全体的に県平均より高い通過率であった。

### 今後の対策

- ・「主体的、対話的で深い学び」の視点から研修を深め、授業法の工夫改善を図る。
- ・生徒の学力状況や生活状況をより深く把握し、個に応じた指導の充実を図る。
- ・通過率の低かった内容や領域については、定期テストや毎時間の小テストなどで、繰り返し補充学習や個別指導を行い、学力の定着を図る。
- ・過去の問題や類似問題などを準備し、家庭学習などで随時活用する。

### 保護者の皆様へ(御礼)

令和4年度の学校教育活動が間もなく終了します。保護者の皆様には、温かい御協力を賜り、心から御礼を申し上げます。春休みに中の子供たちは、進級に対する期待と不安で悩みを抱える時期でもあります。どうぞ、子供さんの様子を見守ってあげてください。何か気になることがありましたら、何時でもお知らせください。

令和5年度も、よろしくお願いいたします。